価値創造のための重要な経営資本

企業理念の実現へとつながっていきます。 重要な経営資本 経営資本を活用して目指す姿と課題 主な資本の数値 課題 朝日工業社グループは「人こそが最大の財産」であると考えてい 1,092名 連結従業員数 ■多様な人材の確保と育成、活躍 短期 中長期 ます。人間尊重の経営をもとに、社員一人ひとりの個性、意欲、 ■ 社員の健康増進と働きがいの最大化 中長期 創意、夢、心を大切にして、社員が生き生きと働くことができる 143_名 人的資本 建築設備十 「働きがいのある職場」づくりに努めるとともに、社員が自ら能力 (関連頁)第18次中期経営計画の進捗(2期目) P21~22 **524**名 を磨き、挑戦する環境を整えることで多様な人材が最大限に能力 1級管工事施工管理技士 従業員とともに P61~66 を発揮できる人的資本経営を実現します。 財務・非財務ハイライト P09~10 課題 朝日工業社グループは長年にわたる事業活動によってお客さま、 ■ サプライヤーとの連携強化 中長期 約 190,000件 協力会社、大学・研究機関など多種多様なステークホルダー、 累計施工件数(1973年以来) ■新たなビジネスの創出と課題解決 中長期 パートナーと信頼関係を築いてきました。これらの強固な関係性 社会•関係資本 は、価値創造において非常に大きな強みであり、既存の設備工事 朝日工業社安全衛生協力会 約 1,200 社 会員企業数 (関連頁) お客さまのために P55~58 事業、機器製造販売事業の拡大と新たなビジネスの創出にともに ビジネスパートナーとともに P59~60 チャレンジして、繁栄することを目指します。 近年の主な施工実績 P31~32 38 ヵ所 お客さまに安全で高品質な設備、機器を安定的に提供し続ける 国内拠点(事業店・営業所・子会社) ■工事店、機器製造・技術開発拠点の戦略的連携 短期 ことは、朝日工業社グループの最低限の使命です。国内外に展開 ■世界で戦うための製造資本の整備 中長期 各力所 製造資本 機器製造·技術開発拠点 する設備工事事業の拠点と機器製造・技術開発拠点が連携し、 求められるニーズに「オール朝日」で、スピード感をもって対応 2 ヵ所 海外拠点 することで、提供価値のさらなる向上を目指します。 (関連頁) ビジネスモデルと強み P27~28 会社概要 事業所一覧 P86 課題 42,027 百万円 自己資本 安定的な財務基盤は、朝日工業社グループがステークホルダー ■ 資本効率の改善 中長期 ■新たな成長機会創出のための戦略的な投資 中長期 とともに繁栄するうえで欠かせません。資本効率の追求と財務健 52.0% 財務資本 自己資本比率 ■ 高度なコーポレートガバナンス体制の構築 中長期 全性の維持向上とのバランスの最適化に取り組みながら、新たな 成長機会の創出に向けて戦略的な投資を実施します。 約 70 億円 戦略的投資累計額* (関連頁)第18次中期経営計画の進捗(2期目) P21~22 ※第18次中期経営計画期間、3年間の合計予定額です 11年間財務サマリー(連結) P83~84 課題 ■研究開発基盤の強化 短期 「空気・水・熱」の科学に基づく高度な技術、ノウハウは価値創造に 187件 特許件数 ■省エネ・脱炭素に関わる技術・製品開発 中長期 おける重要な経営資本です。省エネ・脱炭素をはじめとした市場 知的資本 トレンドに対応した知的財産権を積極的に取得することで、朝日工 221 百万円 研究開発費 (関連頁)第18次中期経営計画の進捗(2期目)P21~22 業社グループの競争優位性の確保を図ります。 研究開発 P35~38 ビジネスモデルと強み P27~28 課題 地球環境に優しい省エネ設備、システムの提案・施工、省エネ機器 1,236 KL エネルギー消費量(原油換算総量) ■ 再生可能エネルギーの導入による 短期 の製造販売などを行う朝日工業社グループの事業そのものが エネルギー使用量の低減 サステナビリティと大きなかかわりを持ちますが、当社自身が 2,639 t-CO₂ 自然資本 二酸化炭素排出量/スコープ1・2 ■ サプライチェーンにおける サステナビリティ経営を実現できなくては、ステークホルダーか 温室効果ガス排出量の把握と分析中長期 スコープ3 **1,480,770** t-CO₂ らの信頼を失うことになります。企業価値を高め、価値創造のため

のサステナビリティ経営を推進していきます。

主な資本の数値は、2025年3月31日時点の数値を用いています

短期 3年以内に解決を目指す課題

(関連頁)朝日工業社グループのサステナビリティ P45~50

環境マネジメントと気候変動への対応 P51~54

朝日工業社グループは、創業以来100年間の歴史のなかで価値を生み出す源泉となる経営資本を積みあげてきました。

これらの経営資本はビジネスモデルと成長戦略の原動力となり、サステナビリティの実現や新たな成長機会の創出、そして